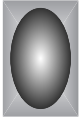


INFORMATION



「電子名簿管理システム」について

日本生理学会では、印刷版の会員名簿を廃止し、電子名簿管理システムを導入しております。名簿管理システムは、2003年1月より運用を開始し、学会のホームページ (<http://physiology.jp/>) からアクセスできます。以下に、その使用方法を簡単にご案内致します。また、必要な使用法はシステム中のオンラインヘルプでも参照できるようになっています。

1. 名簿管理システムへのアクセス

日本生理学会のホームページのトップページ (<http://physiology.jp/>) から、「学会組織—会員名簿」にアクセスして下さい。

2. ユーザー認定

はじめに、ユーザー認定画面が表示されます。ユーザー ID、パスワードは日本生理学会事務局までお問い合わせください (psj@qa2.so-net.ne.jp)

3. メニュー

ログインするとメニュー画面が表示され、下記の項目を選択することができます。

[名簿検索システム][賛助会][名誉会員][特別会員]

4. 名簿検索システム

1) 検索条件設定

メニュー画面にて [名簿検索システム] をクリックすると検索条件設定画面が表示されます。

- ・検索項目に対して、検索条件を入力して下さい。
- ・設定した文字列に対して部分一致検索を行います。
- ・検索項目間は「AND」条件です。
- ・専門分野については、3つでチェック出来ます。
- ・所属先については、所属先名と部署名を同時

検索します。

- ・所属先住所については、住所1、住所2を同時検索します。

上記の検索条件を設定してから、[検索実行] ボタンをクリックすると検索が開始されます。検索結果は、一度に最大100件表示可能です。100件を超える場合は、再度検索条件を設定し、絞込んで下さい。

2) 検索結果一覧表

検索条件設定画面にて [検索実行] を行った結果として検索結果一覧画面が表示されます。検索結果一覧表には、最大100件までの個人情報が氏名のふりがな順に表示されます。表示項目は、氏名、所属先名、専門分野(3つまで)です。

3) 個人情報

検索結果一覧表から [個人情報表示] ボタンをクリックすると、個人情報画面が表示されます。

本システムは読み取り専用なので、変更は出来ません。変更される場合は、日本生理学会事務局に直接ご連絡下さい。本システムでは、月に1度名簿データの更新入替を行います。

学会事務局からのお願い：

1. 本システムは読み取り専用なので、変更は出来ません。変更される場合は、日本生理学会事務局 (psj@qa2.so-net.ne.jp) に直接ご連絡下さい。本システムでは月に1度名簿データの更新入替を行います。
2. 今回の名簿データは、基本的に勤務先のデータを載せています。但し、名簿に自宅データ掲載希望と明記していただいた方は自宅の住所を

掲載しました。会員ご自身で名簿を確認して頂き、ご希望の連絡先を事務局にお知らせ頂ければ月に1度掲載データを更新致します。

このシステムに関してご意見などございました

ら学会事務局 (psj@qa2.so-net.ne.jp) にお寄せ下さい。皆様のご協力をお願い致します。

日本生理学会 編集・広報委員会
編集・広報幹事 小西 真人



2010年 生理学研究所

第21回 生理科学実験技術トレーニングコース

“生体機能の解明に向けて” 一分子・細胞レベルからシステムまで

日時：2010年8月2日(月)～8月6日(金)

場所：自然科学研究機構 生理学研究所

募集人員：約150名

受講料：10,200円(予定)

参加対象：学部学生，大学院生(修士，博士)，若手研究者(Postdoctoral fellow，企業研究者含む)

連絡先：定藤 規弘(さだとう のりひろ) 生理学研究所 心理生理学研究部門
〒444-8585

愛知県岡崎市明大寺町西郷中38

TEL：0564-55-7840

E-Mail：training@nips.ac.jp

ホームページ：

<http://www.nips.ac.jp/training/2010/>

申込方法：ホームページ上でのオンライン登録

申込期日：2010年6月1日(火)12:00～

7月2日(金)15:00

講演：2010年8月2日(月)13:05～

研究テーマをどのように選んだか？

グリア細胞をなぜ研究しているのか？

池中一裕(生理学研究所・分子神経生理研究部門 教授)

講義：2010年8月2日(月)18:00～

動物実験教育訓練：一生理科学研究と動物実験一

佐藤 浩(生理学研究所・動物実験コーディネータ室 特任教授)

実習：8月2日(月)～8月6日(金)テーマ・担当者

1	in vitro 発現系を用いたイオンチャネル・受容体の機能解析	久保義弘
2	海馬神経初代培養とその解析法	深田優子
3	免疫電子顕微鏡法	重本隆一
4	ジーンターゲットマウス作製の基礎から応用へ	富田江一
5	パッチクランプ法	富永真琴
6-1	スライスパッチクランプ法	井本敬二・川口泰雄
6-2	In vivo パッチクランプ法	井本敬二
7	ゼブラフィッシュを用いた神経回路機能の解析	東島眞一
8	摂食・飲水行動発現機構入門	箕越靖彦
9	麻酔動物での電気生理実験	伊佐 正・吉田正俊
10	慢性動物実験法入門	南部 篤
11	視知覚の脳内メカニズムの実験的解析	伊藤 南
12	脳磁図によるヒト脳機能研究の基礎	柿木隆介
13	ヒト脳機能マッピングにおけるデータ解析入門	北田 亮・田邊宏樹
14-1	生理学実験のための電気回路・機械工作・プログラミング (1) 生体アンプとバスチェンバーの作製	戸川森雄・大河原浩
14-2	生理学実験のための電気回路・機械工作・プログラミング (2) C 言語による PIC プログラミング	吉村伸明・大河原浩
15	はじめての電子線トモグラフィ	村田和義